



研究キーワード

新規化学物質, 質量分析, ジオミクス

山本 敦史

准教授

YAMAMOTO, Atsushi

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻URL <https://pfos.jp>E-Mail atyamamo@kankyo-u.ac.jp

Profile

■ 主な担当科目 化学概論, 化学実験, 環境分析化学特論

■ 研究者略歴

1993 (平成 5) 年3月	鳥取県立鳥取西高等学校卒業
1997 (平成 9) 年3月	九州大学理学部化学科卒業
1999 (平成11) 年3月	九州大学大学院理学研究科化学専攻修了
1999 (平成11) 年4月	ユニチカ株式会社
2000 (平成12) 年4月	大阪市立環境科学研究所
2014 (平成26) 年3月	関西大学大学院理工学研究科博士課程修了, 博士 (工学)
2016 (平成28) 年4月	公立鳥取環境大学環境学部講師
2018 (平成30) 年4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 大学院環境経営研究科 環境学専攻 准教授
2023 (令和 5) 年8月	大阪大学大学院理学研究科附属フォアフロント研究センター招へい准教授

Research

■ 取得学位 博士 (工学) (関西大学)

■ 専門分野 分析化学, 質量分析

■ 現在の研究テーマ
・ 環境中残留性汚染物質の分析, 生体影響評価
・ 暮らしに身近な化学物質のリスク評価
・ 食品中の栄養成分等の探索

■ 受賞歴 2017年 (平成29年) 5月 奨励賞 (日本質量分析学会)

■ 所属学会 日本環境化学会, アメリカ化学会, 日本質量分析学会, 日本食品衛生学会

Data

■ 研究等活動

【報文・総説・解説】 (2020 年以降)

- ・ マススペクトルのannotation (1) : 異性体のInChIとSMILES. 西岡孝明, 山本敦史, 松田史生, 日本質量分析学会誌, 71 巻 149-152 (2023), doi: 10.5702/massspec.S23-51
- ・ Quantitation of guanidine derivatives as representative persistent and mobile organic compounds in water: Method development. Makiko Ichihara, Atsushi Yamamoto, 他 2 名 Anal Bioanal Chem, 415, 1953-1965 (2023), doi: 10.1007/s00216-023-04613-x
- ・ Amidoamine Oxide Surfactants as Low Molecular Weight Hydrogelators: Effect of Methylene Chain Length on Aggregate Structure and Rheological Behavior. Rie Kakehashi, Atsushi Yamamoto, 他 4 名 Gels, 9, 261 (2023), doi: 10.3390/gels9030261
- ・ A study of chemical substances migrated from plastic tableware to evaluate the food safety for pets. Yamato Miyazaki, Atsushi Yamamoto. Mass Spectrometry, 12, A0119 (2023), doi: 10.5702/mass spectrometry, A0119
- ・ Hexabromocyclododecane in Riverine and Estuarine Sediments from Osaka, Japan: Spatial Distribution and Concentration Variability Within Identical Samples. Makiko Ichihara, Atsushi Yamamoto, 他 3 名 Environ Sci Poll Res, 27, 35782-35791 (2020), doi: 10.1007/s11356-020-09856-0
- ・ 缶コーヒーの内層コーティングに含まれる成分のノンターゲット分析. 田村 昌之, 山本 敦史, 日本質量分析学会誌, 68 巻 75-80 (2020), doi: 10.5702/massspec.20-105
- ・ 2019 年以前含めた全体は以下に掲載
<https://www.webofscience.com/wos/author/record/C-8211-2012>

【学会・研究会】 (2020 年以降)

- ・ Persistent and mobile compounds (PMOCs) guanidine derivatives. Environmental Occurrence and their disinfection byproduct. アジアオセアニア質量分析学会 (韓国済州島: 2023 年)
- ・ GC × GC で可視化される化学反応槽としての電子たばこ
第 31 回環境化学討論会 (徳島: 2023 年)
- ・ 高度化する環境分析化学データの蓄積と共有
第 30 回環境化学討論会 (富山: 2022 年)
- ・ 同一測定内のデータ整合性にも着目したマススペクトル解析
第 3 回日本質量分析学会スペクトルデータ部会シンポジウム (オンライン: 2022 年)
- ・ 川の水のマススペクトルを読む
第 21 回質量分析中部談話会 (オンライン: 2022 年)
- ・ 食のみやこ鳥取県へ 地方大学での MS との取組み
第 169 回質量分析関西談話会 (オンライン: 2021 年)
- ・ Data analysis of non-target environmental monitoring by a universal program, MS-DIAL
第 8 回アジアオセアニア質量分析学会 (マカオ: 2020 年)
- ・ 環境試料にひそむ化学物質を丸裸に!
JASIS コンファレンス WebExpo 2020-2021 日本環境化学会/JAIMA 招待

【教科書】

- ・ 質量分析活用スタンダード (羊土社: 2023 年)
- ・ 機器分析ハンドブック 1 有機・分光分析編 (化学同人: 2020 年)

■ 社会貢献活動

- ・ 鳥取県分析技術勉強会世話人
- ・ 鳥取県リサイクル技術・製品実用化事業補助金審査会委員長 (2018 年)
- ・ 鳥取県環境影響評価審査会委員 (2018 年~)
- ・ 日本質量分析学会理事 (2019 年~ 2023 年)
- ・ 日本質量分析学会講習会企画委員長 (2019 年~ 2020 年)
- ・ 日本環境化学会評議員 (2019 年~)
- ・ 環境省環境調査研修所研修支援教材講師 (2024 年~)